



### 3学期がスタートしました

#### 校長講話より

##### コロナ禍のお正月

新年明けましておめでとうございます。令和3年がスタートしました。コロナ禍での年末年始だったので、いつもとは違うお年とりになった家も多かったのではないのでしょうか。私の家でも、いつもは私の両親が住む実家で年を越すのですが、今年は1月1日の午前中に、玄関先だけのあいさつとなりました。日本中で、新型コロナウイルスについて考え、対策をしていますが、残念ながら陽性者数はなかなか減ってきませんし、また、こういう報道を日々目にする、どうしても不安な気持ちが大きくなります。それは仕方がないことですが、正しく恐れることを大切にしつつ、今まで同様に、うがい、手洗い、換気、手指消毒などの徹底をしていきましょう。



ZOOMによる始業式

##### シトラスリボン運動の精神を大切に

12月の終わりにもお話しましたが、新型コロナウイルスは、かぜのウイルスの仲間ですから寒い季節には夏よりも10倍近く感染者が増加します。これは、今年だけではなく、毎年の傾向です。先日5日が暦の上では「小寒」でした。「寒の入」と言われます。今年は2月3日までの期間が、「寒の内」といって、一年で一番寒い時期です。ですから、毎日報道されている新規陽性者の数は、まだまだ増えていく可能性があります。

新型コロナウイルス感染症は、「病気」ですからいつ誰がかかってもおかしくありません。病気になってしまった仲間が出たら「お大事に」「ゆっくり休んではやくよくなってね」と言い合うことができる青木中学校であってほしいと思っています。引き続き、『シトラスリボン運動』の精神を大切にしましょう。また、長野県が進めている「コロナは思いやりと支え合いで乗り越える」「ココロのワクチンプロジェクト」という特設サイトも機会があったら見てください。

##### 今年は『丑年』牛のように、慌てずに一歩ずつ前に進みましょう

ところで、今年は丑(うし)年です。「牛」は古くから食牛や乳牛、耕牛と呼ばれ酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農作業を粘り強く最後まで手伝ってくれる様子から、丑年は「我慢(耐える)」や「発展の前ぶれ(芽が出る)」を表す年になるといわれています。また、牛は酪農や農業、食用としても昔から人々の助けになってきたように、おっとりしているように見えても堅実で真面目に物事を進め、成長を続けることができるポテンシャルの高い生き物ともいわれています。

他にも例えば、「紐(ひも)」と言う文字は、いとへんに「丑」となっているように、牛には人と人を結ぶ存在としての役割があります。また、「神の使い」としても信仰され、日本で学問の神様と言われている菅原道真を祀った全国の天満宮には牛の像があります。

まだまだコロナ禍にあって、なかなか先を見通すことができにくい面はありますが、慌てずに一歩ずつ、確実に前に進むことができる1年になるとよいと思います。

##### \* 非違行為防止研修1月6日(水) \*

青木村駐在所より、吉澤真一様を講師としてお招きし、職員の「非違行為防止研修会」を行いました。交通法規については、主に横断歩道・交差点での事故防止について、また、非違行為に関わる具体的な事例などを挙げていただきながら、ご講演いただきました。当日は、PTA副会長の安西由美子様にも同席していただき、教育職員への期待やねぎらいの言葉とともに、非違行為防止への意識を高めることの大切さについてお話いただきました。



